

誰もが伸びる体験学習 —多様性に応えるカリキュラム—

2013年10月25日(金)

13:30—16:00(開場13:00)

法政大学市ヶ谷キャンパス

ボアソナードタワー26階 スカイホール

現在、学生の就業力を即効的に高めるものとして、インターンシップへの期待が、いっそう高まっています。しかし、体験の場は職場でなければならないのでしょうか。また、体験学習の目的は「就業」だけにあるのでしょうか？

人が伸びていく方向はもっと幅広く、それを促す学びの場はもっと柔軟でよいはずです。主役である学生たちも、いまどこに立っているのか、どこを目指しているのか、実にさまざまです。だからこそ、多様な学生に応じた多様な「体験学習」のプログラムが、効果的ではないのでしょうか？

誰もが伸びる体験学習——それを可能にするカリキュラムとプログラムとはどのようなものか？ 私たちキャリアデザイン学部の創意工夫と成果についてご報告し、みなさんとともに考えていきたいと思えます。

スケジュール

●趣旨説明——今日のゴールは何か

筒井美紀(法政大学キャリアデザイン学部准教授)

●必修科目としての体験学習——学部カリキュラムにおける位置づけ

荒川裕子(法政大学キャリアデザイン学部教授)

●企業の課題解決で逞しく・創造的に——「キャリア体験学習C」での学び

山岡義卓(法政大学キャリアデザイン学部兼任講師・神奈川大学経営学部特任准教授)

●他者のキャリア支援で優しく・洞察的に——「キャリアサポート実習」での学び

田澤実(法政大学キャリアデザイン学部准教授)

●学生たちはこんなふうに——体験学習をふり返る

キャリアデザイン学部3・4年生

佐藤恵(法政大学キャリアデザイン学部准教授)

●専門家からのコメント——外部の視点で点検する

松高政(京都産業大学経営学部准教授/キャリア教育研究開発センター・進路センター運営委員)

●総括——キャリアデザイン学部の体験学習は何が違うのか

上西充子(法政大学キャリアデザイン学部教授)

誰もが伸びる体験学習

—多様性に応えるカリキュラム—

- 現在、学生の就業力を即効的に高めるものとして、インターンシップへの期待が、いっそう高まっています。しかし、体験の場は職場でなければならないのでしょうか。また、体験学習の目的は「就業」だけにあるのでしょうか？
- 人が伸びていく方向はもっと幅広く、それを促す学びの場はもっと柔軟でよいはずです。主役である学生たちも、いまどこに立っているのか、どこを目指しているのか、実にさまざまです。だからこそ、多様な学生に応じた多様な「体験学習」のプログラムが、効果的ではないのでしょうか？
- 誰もが伸びる体験学習——それを可能にするカリキュラムとプログラムとはどのようなものか？ 私たちキャリアデザイン学部の創意工夫と成果についてご報告し、みなさんとともに考えていきたいと思えます。

2013年10月25日(金) 13:30-16:00(開場13:00)

法政大学市ヶ谷キャンパス

ボアソナードタワー26階 スカイホール

参加を希望される方は、WEB(PC,携帯)もしくはFAXでお申し込みください。

※お送りいただきました個人情報には本目的以外には使用いたしません。
定員/120人(定員に達し次第、お申し込みは締め切らせていただきます)

URL <https://www.event-u.jp/fm/10325>

FAX 03-3264-4264



FAX申込用紙

お名前

ご所属

ご連絡先/Email

TEL/FAX